

第4回 三次市旧三江線鉄道資産検討委員会 協議概要

期 日：平成30年9月14日（金）10:00～11:00

場 所：みよしまちづくりセンター

1 開 会

2 協 議

<結論>

骨子（案）については、全員一致で承認された。

<意見>

個別意見

●（欠席委員の意見紹介）将来の維持管理を地元に求められることが予想されるが、それは非常に難しいことから、作木町はもらわないという意見である。

○十日市町内の安心・安全のため、道路が狭い箇所や見通しが悪い箇所については、撤去をしてほしい。今後、維持管理のため、市が譲渡を受けて進めていくことが必要である。

○旧尾関山駅周辺は、祝橋の整備計画がある。しかし、橋梁が改良されても、現在、三次町に入ると経路が限られ、特に妖怪博物館へ向かう車の流れについては、尾関山トンネル直前の鉄路・橋梁を撤去して道路の高低差を無くすとともに、拡幅をしていくことを検討することが必要である。

○骨子（案）2つ目の「地域活性化」に関して同意する。

○島根県側の旧宇都井駅や旧口羽駅などの譲渡が検討されている。地元観光協会としては、地域振興のために、譲渡を受けてほしい。また、JRが保有していたら管理ができないので、市が譲渡を受けるべきである。さらに、豪雨災害の際には、旧三江線の鉄路は水に浸からなかった。JRから譲渡を受けて活用するべきである。

○橋梁は譲渡を受けるべきではない。

○維持管理についてはJ Rと慎重な協議を重ねてほしい。次世代への負担を考えると、J Rが維持管理をするほうがよい。

○会員に対するアンケートに取り組んでおり、来週取りまとめて事務局に提出をする。現在提出された意見の中に、市民への負担が増えるので、譲渡を受けるべきではないという意見もある。

○例会の中では、旧尾関山駅付近のトンネルについては、妖怪博物館との関連性をもたせることで、観光資源として生かせるのではないかという意見があった。ただし、安全確保や費用対効果の面から課題はある。

○生活道路については積極的に活用をすべきである。

○地域活性化については具体的な意見は出てきていない。妖怪博物館にあるS Lの部分は活用できたらと思うが、具体的な方策までは至っていない。

○三次市の提言が他の自治体に影響を与える。沿線市町は、J Rに対して、検討の時間を伸ばすように働きかけを行うとともに、市町が連携しながら、J Rも一緒になって、地域の資産として活用できないのか検討していくべきではないか。他の自治体については検討委員会設置等の動きはあるのか。

←（県）沿線市町の状況を把握したところ、三次市と邑南町以外の沿線市町においては、譲渡を受けないという方針であり、資産の検討は現在行われていない状況である。

○S Lについては活用することも考えてはどうか。関わりがあることから、提言書にも記載をしてはどうか。

提言骨子（案）に対する意見

○具体的な場所や活用策については、どのように提言書に組み込むのか。

←（細川委員長）提言書に具体的な地域や箇所を明記していくこととなると、特に鉄道資産の譲渡により道路整備を行っていくことが望まれる箇所について検討中の地区もあることから、この部分については、今後、市行政で責任を持って調査・検討を行っていくこととし、個別箇所名は記載しない方向性ではどうか。

○（委員長の方針を受けて）骨子（案）の内容については、全面的に賛成である。

3 その他

次回第5回検討委員会の開催日について
※10月中旬で開催（日程は、別途通知）。

4 閉 会